

# 東桂中学校 運動部活動の活動方針

## (1) 学校教育の一環として行う。

部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われなければならない。異年齢との交流の場で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係を構築したり、生徒の自己肯定感を味合わせせる。競技を「すること」のみにかたよらず、「みる、支える、知る」といった視点で、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学ばせる。

## (2) 生徒のニーズや意見を把握して活動する。

生徒の間には、好きなスポーツの技能を高めたい、記録を伸ばしたい、一定のペースでスポーツに親しみたい、放課後を有意義に過ごしたい、信頼できる友達を見つけたいなど様々な目的、目標がある。有意義な活動になるよう努める。

## (3) 適切な指導体制の中で活動する。

運動部活動は、顧問教師の積極的な取組に支えられているが、各活動の運営、指導が顧問の教員に任せきりとならないように、教員の負担軽減の観点にも配慮しつつ、学校全体で運動部活動の運営にあたる。

## (4) 適切な休養日等の設定をする。

週あたり2日以上以上の休養日を設けることを原則とする。ただし、シーズン期は教員と生徒の状況で決定する。

## (5) 参加する大会や練習試合を精査する。

教育内大会の出場を原則とするが、生徒の教育的意義、生徒や顧問、保護者の負担感が過度とならないように、参加する大会等を精査する。